

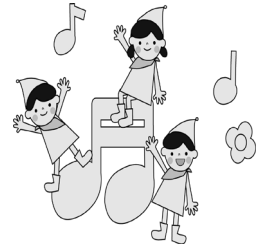


# ほけんだより

平成31年3月  
玉島保育園

今年度も残すところあと1ヵ月。少しずつ暖かい春が近づいています。しかし、朝夕の冷え込みはまだ続き、体調管理が難しい時期です。『手洗いと十分な睡眠』は感染症予防の基本ですが、とても効果があります。卒園を、新年度の進級を、元気に迎えられるように、今から生活リズムを見直し病気やケガに気をつけて過ごしましょう。一年間、保健業務にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願い致します。

茨木市内で、麻疹(はしか)の感染があります。  
治療薬はなく、空気感染する病気です。手洗い・マスクなどでは防げずワクチン接種が大切です。ワクチンを1回しか接種していない方は、感染する可能性があります。



## 3月3日は耳の日です

耳は音を聞くだけでなく、カラダの平衡感覚をつかさどる器官です。耳と鼻、のどは『耳管』という管でつながっています。子どもの耳管は大人よりも短く角度も水平に近いので、のどなどで感染がおこると耳管を経て中耳に達しやすく中耳炎になりやすいので注意してください。

**急性中耳炎**  
中耳(鼓膜の内側)に、鼻やのどから細菌・ウイルスが入って炎症を起こし、膿がたまる病気です。風邪の鼻やのどの炎症に続いて起こることが多いです。  
症状：激しい耳の痛み  
発熱  
耳だれ  
耳がつまった感じ

**滲出性中耳炎**  
中耳腔(鼓膜の内側の部屋)に液体(浸出液)がたまる病気です。急性中耳炎が完全に治りきらず、鼓膜の内側に膿が残って起こります。  
症状：何度読んでも返事しない  
テレビの音量が大きい  
など、耳が聞こえにくくなる

**慢性中耳炎**  
急性中耳炎が治らず、鼓膜に穴が開いたままになって起こる『慢性化膿性中耳炎』と、鼓膜の一部が耳の奥に入り込んでかたまりを作る『真珠腫性中耳炎』があります。  
症状：化膿性  
耳が聞こえにくくなる  
耳だれ  
真珠腫性  
耳が聞こえにくくなる  
めまい  
顔面神経麻痺



## おたふくかぜ(ムンプス)と難聴

おたふくかぜの合併症のひとつに「ムンプス難聴」というものがあります。ほとんどは片耳に、まれに両耳に、重度の感音性難聴が起こります。片耳だけに起こった場合、乳幼児では症状を訴えられず見落とされていることもあります。有効な治療方法はなく、おたふくかぜのワクチンを接種することが、予防になります。

**3月の予定**  
3/4(月) 0・1歳身体計測  
3/5(火) 2・3歳身体計測  
3/6(水) 4・5歳身体計測

